

※ ■第5章 ボイストレーナー養成コーステスト

●レッスン1・・・歌唱体験レッスン手引き 30分 教え方のポイント

【お話：約5分】

- 1.挨拶をし、生徒さんがボイストレーニングを受ける理由を尋ねる。
- 2.「よくわかりました。その問題を解決してゆきましょう。」と伝える。
(生徒さんは悩みがあってやってきます。このボイトレで治るだろうか...という不安がある
のです。上記の事を伝え、安心させてあげましょう。)
- 3.今までの音楽経験を尋ねる(部活やサークルなどでやっていたか...など)
- 4.自分の音楽経験もプロフィールする。

【実施：約10分】

- 声を出して頂く。
一度、声を聞かせてください。。。部屋には私達二人しかいませんので、いつもどおり、緊張しないで声だしてみてくださいね。」(笑顔を忘れず、目をみて話す。)
- 単音で、歌って頂く。Cから～
(伴奏をして、どこで吸って、どのリズムで歌うかお手本を2回します)
- 声がひっくりかえって、きつそうなところまで行き、咽が辛いかなを尋ねる。
(ただ黙々と聞かないで、いいですよ...等声をかける)
- 咽が閉じていたら、力が入ってしまっている事を伝えます。
- 今でている音域を伝える。パートも伝える(ソプラノ、メゾ、テノール、バリトン)

【レッスン方法案内：約12分】

- 1..レッスンの簡単な流れを説明します。まず咽をあける方法です。
 - 2.息に音程をのせてうたわせる(スローモーションびっくりの説明と玉置浩二風)
 - 3.わからない人は、冬のガラスの話をする。
 - 4.上の方まで出させて咽が痛く無い事を確認。
- このまま歌うわけではなく、声を集める話をする。
(きしめん→うどん→そうめん)
(息→フレンチ→ポップス)
 - 腰をつかう事、ビブラートをつける(ゴスペル、opera)
 - この発声法を修得すると、咽はいたくならないしいつでも好きなジャンルを歌えます。

【入会御案内：約3分】

3. もし気に入っていただけたようでしたら、事務所に御連絡してください。また、わたしは、○○さんにとって、先生と生徒というより、音楽と一緒に楽しむパートナーとして選んで頂るようでしたら、御指名ください。他の先生もいらっしゃいますので、ざっくばらんにお願いしますね。
4. 御希望のお時間帯、曜日はございますか？メモしてレッスン状況をリーダーに連絡する